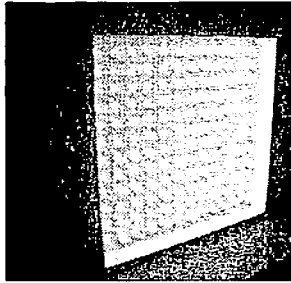


## LED144個搭載の大型照明



近藤工芸(川崎市高津区、近藤眞一社長、044・820・1013)は、発光ダイオード(LED)を144個搭載した大型照明器具(写真)を開発した。光源は72ワで30センチの明るさで照らす。新製品は0・5ワのLEDを4×4個配列したユニットを3×3個設置した。同社独

### 近藤工芸 消費電力、水銀灯の8分の1

自開発のポリカーボネート製レンズカバー内にLEDを収納、照射角13度の光が先端の広角レンズで160度に拡散、照射する。レンズカバーはラジエーター構造を取り入れたダイレクトヒートシンクを内蔵、LEDの100度Cの放熱を分散し先端レンズ部分では40度Cにまで温度を下げる。また、ユニットは9回路構成なので1回路が故障・断線しても照度には影響がない。LEDユニットの交換も容易。定格寿命は4万時間。消費電力は1時間当たり96ワで水銀灯に比べ8分の1で済む。(川崎)